

2022年10月30日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第65巻第29号(通算3311号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

かみさま ひと とも
神様がすべての人と共におられる
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切に神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ 5:5)

しゅうきょうかい かくきねんび こうたんぜん だい しゅうじつ れいはい
宗教改革記念日(降誕前 第8主日) 礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

ぜん そう もく とう ちよさくけんしやうめつ
前 奏 (黙 禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば しへん へん せつ
招きの詞 詩編 32編 1-2節

きん び か ばん せい かみ
賛美歌 21-2番「聖なるみ神は」(©JASRAC)

せい し しょ しょう せつ しょう せつ
聖 書 ハバクク書 1章 1-4節、2章 1-4節

いの ばん まね こた
お 祈 り 賛美歌 21-448番「お招きに応えました」(©JASRAC)

メッセージ 「きみはその 幻 を見たか」 岡嶋 千宙 伝道師

きん び か ばん しんこう たびじ ちよさくけんしやうめつ
賛美歌 21-458番「信仰こそ旅路を」(©著作権消滅)

しゅ いの ばん てん わたし ちち きやうだんさんびかかいていいんかい
主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讃美歌改訂委員会)

たんじやうしゃしゆくふくしき おかじま ちひろ でんどうし
誕生者祝福式(*) 岡嶋 千宙 伝道師

ささげもの
献げ物 (**)

は けん ばん かみ めぐ う せつ
派 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゆくふく おかじま ちひろ でんどうし
祝 福 岡嶋 千宙 伝道師

こう そう ばん
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番)(©著作権消滅)

ほう こく ページ さんしやう
報 告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* みんなで10月生まれの方(と今年度10月までにお生まれの方)を祝福いたします。ご遠慮なさらず、どなたでもお申し出ください。

** 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 詩編 32 編 1-2 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

- 1 幸さいわいな者／背そむきの罪ゆるを赦おおされ、罪おおを覆おおわれた人。
2 幸さいわいな者／主あやまに過れいちをあざむとがめられず、その靈れいに欺あざむきのない人。

聖書 ハバクク書 1 章 1-4 節、2 章 1-4 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

- 1 :¹ 預言者ハバククが見た託宣たくせん。
2 主よ、いつまで助けを求めて叫さけべばよいのですか。
あなたは耳かたむを傾かたむけてくださらない。
「暴虐ぼうぎやくだ」とあなたに叫さけんでいるのに
あなたは救さけってくださらない。
3 なぜ、あなたは災わざわいを私に見せ
労苦を眺めたままなのですか。
私の前には破壊と暴虐があり
争いといさかいが起こっています。
4 こうして、律法は力を失い
正しい裁くだきがいつまでも下くだされません。
悪あしき者が正くだしき者を取り囲み
そのため、裁くだきが曲くだげられています。
2 :¹ 私は見張り場につき
砦とりでの上に立とりでって見張りをしよう。
主が私に何を語り
私の訴とりでえに何と答とりでえられるかを見よう。
2 主は私に答とりでえられた。
「この幻まぼろしを書き記せ。
a 一目で分かるように板の上にはっきりと記せ。
3 この幻まぼろしは、なお、定めさだめの時のため
終さだわりの時について告さだげるもので
人あざむを欺あざむくことはない。 (脚注 a : 直訳「それを読む者が走るために」)
たとえ、遅あざむくなっても待ち望あざむめ。
それは必ず来あざむる。遅あざむれることはない。
4 見よ、高慢こうまんな者を。
その心は正こうまんしくない。
しかし、正こうまんしき人はその信仰によって生きる。」



《先週のメッセージより》2022年10月23日 収穫感謝礼拝

メッセージ「神の業の現れるところ」より

牛田匡牧師

聖書 使徒言行録 14章 8-18節

今回のお話は、足の不自由な男が癒されて立ち上がり、それを見た町の人々が驚いてパウロとバルナバを神々の化身だと思い込み、いけにえを献げようとしたというお話でした。まず気になるのは「彼に癒やされるのにふさわしい信仰があるのを認めた」(9)という言葉ですが、これは直訳すると「彼には救われないという信頼があったことが、パウロには伝わった」ということです。ですから、彼の信仰が多く、合格点に達していたということではありません。そもそも他人の信仰が多いか少ないかなど判断することはできませんし、イエス様に従った弟子たちでさえも、「あなたたちにはからし種一粒ほどの信仰もない」(マタイ 17:20)と言われていた程でした。「生まれつき足が悪かった」ということは、当時の古代社会では「生まれる前から罪の中にいる。神から見放された、ケガレた存在」と理解されていました。そのために彼自身も自分のことを「私は人前に出てはいけない、神様から見放されたケガレた存在だ」と思い込み、差別を内面化してしまっていたのではないかと思います。

そうなる何もかもが「どうせ駄目だ」「何をしても無駄だ」となってしまう、「救われたい」「ここから解放されたい」という思いすら沸いて来なくなります。今年「全国水平社宣言」100周年の年ですが、あの宣言も多くの被差別民たちに、差別を自分たち自身が内面化してしまっていた所から、「我々自身を誇り得る時が来た」「立ち上がれ」と訴えかけた宣言でした。この足の癒された男も、パウロの話聞きながら「罪の中に生まれ落ちた私も、確かに救われたい。生きていていい命として今までの状態から抜け出したい」と心底願ったのでしょう。それは旧来の絶望から、希望に向かって180度方向転換した出来事であり、彼にとっては躍り上がるくらい大きな立ち上がりの出来事でした。

ですから、パウロが特別な超能力を使って、彼を癒したのではありませんでした。神の業が現れるところ、それは何か特別な所で超能力として現れるのではなく、私たちの身近な所に現れ働かれます。私たちが「何をしたか／していないか」「何が出来たか／出来ていないか」を遥かに超えて、大いなる恵みを下さっているのが、神様です。現実生活の中では、誰もが多くの困難や課題と共にあります。その中でも神様が共にいて下さるので自分は立ち上がることができる、生きることが許されている、救われていい命なんだということに信頼して、小さな一歩を歩み出していくように、私たちは今日も招かれて参ります。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 10月23日 収穫感謝礼拝

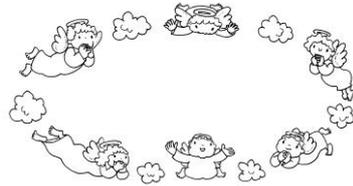
主日礼拝出席 大人6名 こども3名
 献金 大人8,000円 こども300円

中継動画再生数 10回
 感謝

「収穫感謝礼拝」で、お献げ頂いたお米やお野菜、果物などは、釜ヶ崎支援のため
 いこい食堂に献品致しました。また礼拝後に行った「おにぎり支援」では、174個
 のおにぎりを作り、釜ヶ崎にお届けいたしました。どうもありがとうございました。

◎次週 2022年11月6日(日) 召天者記念礼拝

招きの詞 詩編 77編 2-4節
 聖書 ルカによる福音書 20章 27-40節
 メッセージ 「天国のことは天国で」水谷憲牧師



賛美歌 21-209番 1-3(©編集委)、21-382番(©JASRAC)、21-474番(©P.D.)

礼拝はインターネットで中継いたします。来月11月は「愛児祝福月間」ですので、
 礼拝の中で「愛児祝福式」を行います。小さい子どもたちもどうぞ一緒にご参加く
 ださい。また「召天者記念礼拝」として先に天に召された方々を偲びます。ご家族や
 ご友人などで、先に天に召された方々のお写真をどうぞお持ちください。

14時から王寺墓地にて、墓前礼拝が行われます。その後、日本コイノニア福祉会
 の特別養護老人ホーム「第二好意の庭」にて、15時からこの一年間に天に召された
 入居者の方々を記念する「永眠者記念礼拝」が行われます(共に司式は牛田牧師)。

◎お知らせ

- ・新型コロナウイルス感染症の流行が続いています。ご自身の感染予防のためにも、
 他人に感染させないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インター
 ネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい
 形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページから
 ダウンロードしていただくことができます。
- ・大阪教区の2つの教区墓地(服部墓地・王寺墓地)では、それぞれ教区主催の墓前
 礼拝が行われてきましたが、コロナ禍になってからは行われていません。今年度も
 教区としては行われなないことになりました。
- ・11月6日(土)14時から、日本聖書協会主催の
 聖書セミナー「聖書のことば、聖書とことば」が開催されます。オンライン参加も可能です。
 詳細・お申し込みは、日本聖書協会のウェブサイト
 をご確認ください。 <https://www.bible.or.jp/>

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
11/6	水谷牧師	(愛児祝福月間)召天者記念礼拝・ユーカリスト 13時半～王寺墓地墓前礼拝(牛田牧師) 15時～第二好意の庭・召天者記念礼拝
11/13	岡嶋伝道師	(愛児祝福月間)(障がい者週間)
11/20	岡嶋伝道師	(愛児祝福月間)教会を考える会? 14時～服部墓地墓前礼拝・納骨式(牛田牧師)
11/27	牛田牧師	(愛児祝福月間)第1アドベント礼拝 誕生者祝福式・おにぎり支援

聖書セミナー・広島

聖書とことば



日本文学
佐藤 裕子
(さとう ゆうこ)



言語学
高橋 洋成
(たかはし よしな)

聖書のことば

原語、翻訳、文学から見た聖書の魅力

聖書は、キリスト教の聖典として最も多くの言語に訳され、また、同一言語におい
 ても翻訳が繰り返されてきた書物です。聖書はまた、人類の古典として古今の思想
 や文化に多大な影響を与えてきました。この信仰と文化の源泉である聖書につい
 て、言語、文学、翻訳を切り口に、専門家の二人に存分に語っていただきます。

2022 **11.6** 日

エリザベト音楽大学 ザビエルホール

広島県広島市中区横町4-15

14:00～15:30
(開場13:30)

入場無料

要事前申込 90名(先着順)
※オンライン配信(人数制限なし)あり
 ※会場では事前申込の要無しのFreeから
 お申し込みをお願ひいたします。

申し込みの切り 11.4 金 13:00

お申し込みは <https://seminar-hiroshima2022.peatix.com/>

お問い合わせ info@bible.or.jp <https://www.bible.or.jp>

日本聖書協会 広報部 ☎ 03-3567-1988

主催 一般財団法人日本聖書協会 協賛 カトリック広島司教区